

未来産業用地開発事業「東山田・谷貝地区」の区域拡張について

1 背景と目的

未来産業用地開発事業「東山田・谷貝地区」では、新たな雇用の創出を図ることで若い世代の移住定住を促進し、さらに、魅力ある雇用の創出により市内の若い世代の転出を抑制することで、古河市の人口減少に歯止めをかけることを目的として事業を進めております。現在は、企業4社の立地が決定し、各々の企業において土地の造成、建屋の建築を進めていく予定です。

2 事業の概要

本事業は、地域未来投資促進法に基づく県の支援策「未来産業基盤強化プロジェクト」を活用し、企業の立地ニーズの高い圏央道境古河インターチェンジ周辺地域に、新たな産業用地を創出する事業です。

「東山田・谷貝地区」は、企業4社の立地により全てのエリアが完売となっていることから、すでに国からの同意を得ている「第2期茨城県圏央道沿線地域基本計画」に、新たな区域を追加する内容で、茨城県と協議を進め、本年12月に国からの同意を得ることを目標に、新たな計画案を国に提出したところです。

(1) 開発予定地 東山田・谷貝地区 ※別紙「位置図」のとおり

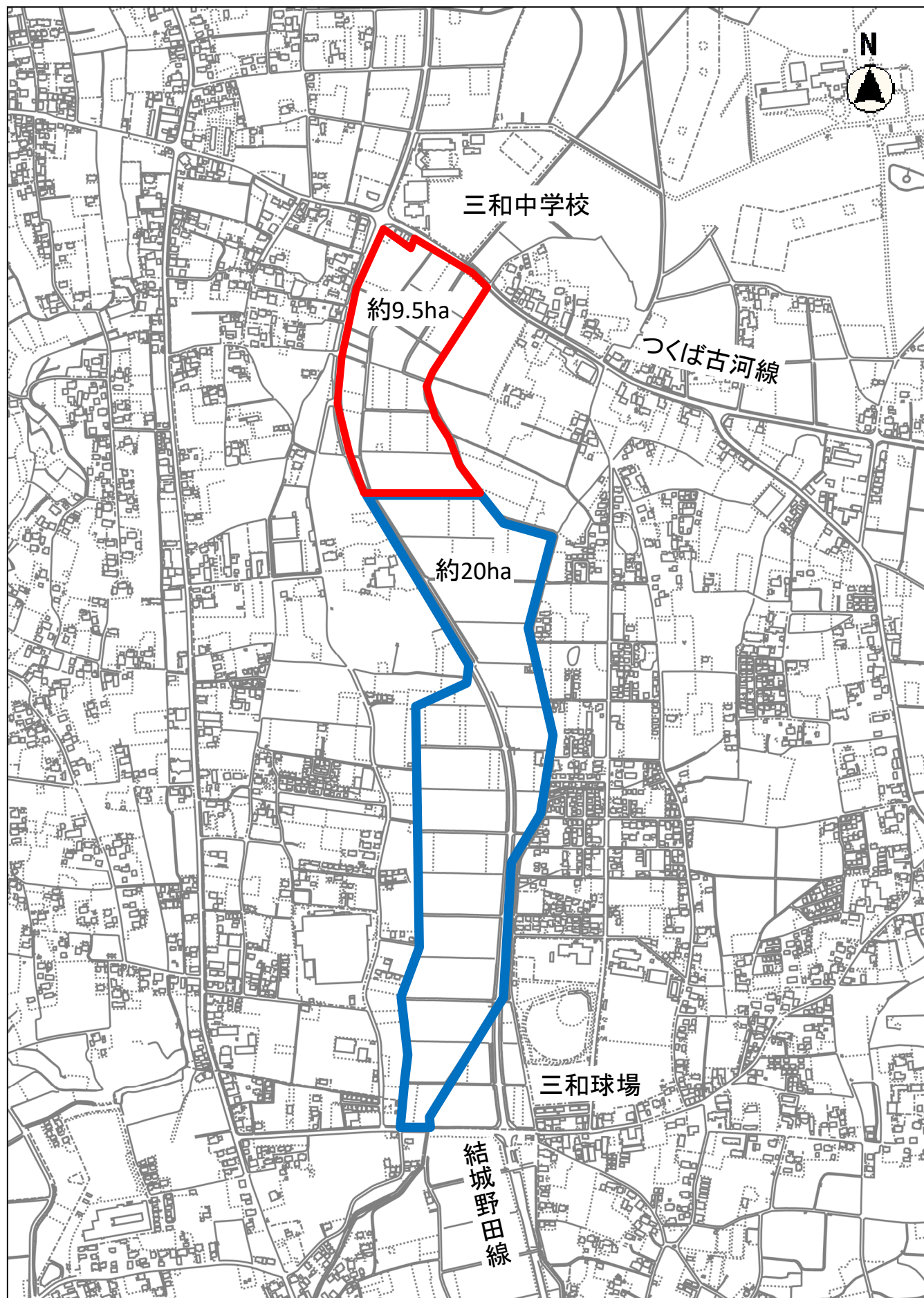
(2) 開発予定規模 約9.5ha

3 今後のスケジュール

(1) 地権者説明会の開催 令和6年10月9日(水)

(2) 基本計画の国の同意 令和6年12月頃(予定)

東山田・谷貝地区 位置図



縮尺 1 : 10000
100 50 0 100 200

既存区域
追加区域